

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	1222	一般管理費	05	05	住宅新築資金等貸付特別会計
基本施策	39	部落差別の解消に向け、同和行政を推し進める	01	01	総務費
担当部課名		大山田支所 人権同和課	01	01	総務管理費
作成者氏名	重本 敏昭	連絡先	101	101	一般管理費
		46-0140	01	01	一般管理費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	旧大山田村における住宅新築資金等の貸付者	貸付金償還金の奨励を行い、行政が果たすべき公平性の確保を図ることができ、地域改善事業に対する住民の理解が得られる。
本年度事業内容	1. 住宅新築資金等貸付金償還者に対し償還指導を行う。滞納者には督促状を発送する。 2. 臨戸訪問により、償還相談を行い償還を促すとともに返済意思の確認を行った。	
根拠法令・要綱等	大山田村住宅新築資金等貸付条例	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.8	0.8	0.8
人件費合計(A)	5,760	5,760	5,760
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	25	47	47
委託料			
報酬		24	24
その他	25	23	23
合計(A+B)	5,785	5,807	5,807
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財	25	47	47
一般財源	5,760	5,760	5,760
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
住宅新築資金等貸付金償還件数	件	10	10	9			
督促・催告件数	件	10(延べ)	15	15			
償還相談数(臨戸訪問)	件	5(延べ)	10	10			

情勢の変化及び事業の改善点等

直近の景気回復基調とは異なり、住宅新築資金等の借受者の生活状況は長引く景気低迷による個人所得の減少等により、分納により償還することとなった借受者が増えてきた。17年度は、保証人からの一括繰上償還があったものの、全体としては、借受人及び連帯保証人の高齢化等(死亡・自己破産)による事情も含めて、滞納が増加している傾向にある。この状況の中から債権回収は厳しい状況にあるが、引き続き、督促、催告等の手続、臨戸訪問を継続しながら、滞納となった債権の原因分析をして、糸口を見つけていく。

評価	達成度	3	今後、十分に滞納者の現状を把握するとともに、債権回収に向け担当者のスキルアップに努めたい。
	効率性	3	